

2022.10.08

【開催報告】

Peace Now! Nagasaki 2022

概要

日程：2022年9月5日(月)13:00～6日(火)16:40
場所：長崎市内

参加者

北海道BK(1)※代表派遣、宇都宮大(1)、十文字学園女子大(2)、東京大(1)、信州大(1)、名古屋工業大(2)、関西学院大(1)、近畿大(2)、神戸市外大(1)、神戸高専(2)、同志社大(1)、奈良女子大(3)、立命館大(1)、岡山大(2)、島根大(1)、熊本大(1)、長崎大(1)、北九州市立大(1)、現地実行委員(8)、ブロック(9)、連合会(4)

計18会員46名(運営含む)



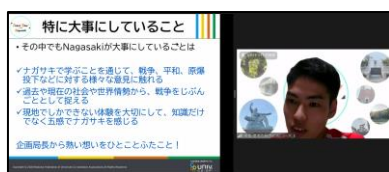
セミナーテーマ

- **ナガサキで学ぶことを通じて、戦争、平和、原爆投下などに対する様々な意見に触れる**
- **過去や現在の社会や世界情勢から、戦争をじぶんごととして捉える**
- **現地でしかできない体験を大切にして、知識だけでなく五感でナガサキを感じる**

00 事前学習会で長崎に来る準備を!

8/9 事前学習会に35人参加!

当日、**より学びを深く行うためにあらかじめ学べる知識を知るために**事前学習会を行いました。Peace Now!の歴史や想いについて学び、今年のPN!Nで大切にしたいことの確認をしました。長崎についてのクイズを行ったり、平和祈念式典の様子を見たりして長崎について考えられました。参加者同士で事前に交流する機会にもなりました。



↑今年のPN!Nで大切にしたいことも確認!

→当日までに考えたいことを提案し、それぞれ取り組み、当日に向けて準備をしました!



01 久しぶりの対面! 長崎へようこそ!

アイスブレイク

PN!Nとしては2年ぶりの対面開催、運営側も参加者も対面が初めてや久しぶりという中での開催でした。新型コロナウイルスの感染状況も予断を許さない中、そして台風も来ているという所で様々な困難もありましたが無事開催することができました。最初のアイスブレイクでは方言自己紹介を行い、**全国各地から参加者がいることを感じながら平和について楽しく学が雰囲気作りができました!**



グループリーダー実行委員の皆さんがとても明るくて、また、班の中でも話しやすい雰囲気があったので、不安を感じることなく、楽しむことができました!(奈良女子大・1)

02 生の声を「聴く」 これが対面だ！

被爆者講話

戦後77年、被爆者の方から直接お話を聞けることも少なくなっているということで、被爆者の方に被爆体験の講演をしていただきました。77年前の日本が戦争に歩みを進めた歴史から8月9日当日の体験をご講演いただき、質疑応答ではたくさんの質問に答えてもらいました。**77年前の体験や記憶をどのようにワカモノの力で繋いでいくか、考えさせられました。**



正直、今までは若者が戦争の記憶を語り継いでいくことにどんな意味があるのか、疑問を感じていました。しかし、今回の経験を通して、語り継いでいくことの必要性が理解出来ました。(岡山大・1)

03 現地でしかできない！ 現地で実際に「見る」

FW(フィールドワーク)

4つのグループに分かれて1日目、2日目ともに長崎市内のフィールドワークを行いました。原爆資料館、永井隆記念館、岡まさはる記念館といった施設を観覧したり、現地実行委員が被爆遺構のガイドを行ったりして、長崎について深く学ぶ時間となりました。**耳でその場の音を聞いたり、歩く中で長崎の風を感じたりと、五感を使って77年前から今までの長崎について知り考え、学びました。**

フィールドワークで訪れた場所



【平和公園】



【永井隆記念館】



【浦上天主教】



【山王神社】



【旧長崎医科大学門柱】



【爆心地公園】



【一本柱鳥居】



【国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館】



【岡まさはる記念長崎平和資料館】

【長崎原爆資料館】

自分も科学を学んでいる身であるため、永井隆さんの探究心や、平和を願って、誰かの為になるようにと研究続けたという姿勢に感動しました。(宇都宮大・2)

水がいたるところに流れていて、なんでだろうと思っていました。それが、被爆者の方が当時水を求めていたことを表している聞き、衝撃を受けました。(神戸市外大・3)

原爆の威力を実際に見て、これまでの授業や写真を見ただけではわからないことを学ぶことができました。原爆のことを忘れない人、後世に伝えたい人、様々な意見があったと思いますが、今形として残っていることで私たちも、今後長崎を訪れる人も原爆のことを考えるきっかけになると思いました。(十文字学園・4)

実際に平和祈念像や平和の泉を見るのは初めてで、今までたくさんの人が訪れ、願いを込めてきたことを考えると僕も頑張らないと思った。(北九州市立大・3)

爆心地だったのに77年経った今は植物が沢山生えていて生命の強さを感じたのと、すべてのものにそれぞれの意味があるのが印象に残った。(東京大・1)

04 全国の仲間と「話す」 感想いっぱい交流

感想交流会

被爆者講話やFWといったコンテンツを通して、PN!NIに参加する前と後での自分の考えの変化について言語化をするために、模造紙や付箋を使って感想交流のワークを行いました。**たくさんの考えに触れる中で自分の考えをより深め、多角的な視点を持てる時間となりました。**戦争や平和に関する話は堅苦しいというイメージを持たれがちですが、その中でも意見交換は楽しいものだと感じられました。



戦争を二度と繰り返してはいけないということを皆が改めて思い知っていたということが感想交流会で語り合えたと思います。(北海道・1)

05 ポスターセッションで ひたすら考えを交流

ポスター作成・交流会

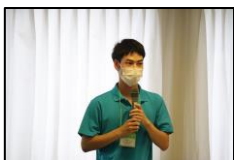
被爆者講話、フィールドワークを通して学んだこと考えたことを班員と語りつくし、それぞれの班で1つテーマを決めてポスターを作成し、他の班のメンバーに共有をすることで、様々な意見に触れる機会を作りました。**積極的に自分の考えをアウトプットし、他人の考えに耳を傾け、共感し、対話につながっている様子がありました。**それぞれの大学でも広げていってくれることを期待しています！



今の平和な状況を将来に繋げていくためにも、周りに伝えていきたいと思いました。じっくりと平和について学ぶことができる良い機会でした。(熊本大・2)

企画局長：ぎまっちからのメッセージ

今年のPN!Nでは“現地ではできない経験”と“平和を考えることの楽しさ”を大切に企画してきました。FWやポスターセッションなどを全国の仲間と一緒にできて私自身もとても楽しかったです。PN!Nで学んだことを参加していない方にも広げて行きましょう！！



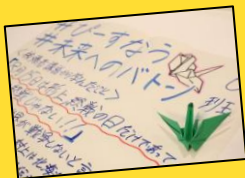
実行委員長：りんりんからのメッセージ

コロナに負けず、台風に負けず、無時2日間のPN!Nを実施できました！全国の仲間と長崎で学ぶことをきっかけに知り、知らせ、考え、話し合い、行動するという経験をする事ができました。さて、ここからがスタートです。学びや共感を広げ、みんなでより良い生活と平和を目指していきましょう！



参加者の感想

感想を話す時に、何を言っても許されるような雰囲気が本当によかったです。私は自分の意見を言う時にそれが正しいか正しくないか考えてしまう癖があるので、このような環境の中で平和について学び様々な意見に触れることが出来て、参加してよかったと思いました。(名工大・1)



戦争や平和という真面目なテーマのセミナーでしたが、2日間とても楽しかったです。実際に五感で長崎を感じることで心動かされるものもあって、実りある2日間に出来たのではないかと思います。(近畿大・1)



長崎については学び尽くしたように感じていましたが、今回の企画に参加できて新しい視点や意見を取り込むことが出来ました。楽しかったです！！(関西学院大・2)



全国の人と、いつも生活している長崎について、平和、戦争について考えることが楽しかった。これから学生委員、個人として平和を守るためにできることを実践していこうと思った。(長崎大・2)



2日間本当にあっという間でした。個人的に長崎へ来ていたら、この2日間にした経験は絶対にできなかったです。貴重な体験ができました。(奈良女子大・2)



別世界の話のように感じていたのが身近に感じれて、私たちの世代が平和のために何かしていかなければいけないという使命感のようなものを強く感じた。(島根・1)



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！ 来年も沢山のご参加お待ちしております！！

発行元：全国大学生生活協同組合連合会 | 執筆者：林優樹(全国学生委員会)
お問い合わせ：Peace Now! セミナー事務局(nfuca-PeaceNow@univ.coop)